

# ひらいた門

見よ。わたしは、だれも閉じることのできない門を、あなたの前に開いておいた。なぜなら、あなたには少しばかりの力があって、わたしのことばを守り、わたしの名を否まなかったからである。 黙示録3：8

VOL.01-01 NO.001 2009年4月

チャーチ・オブ・ゴッド

川崎南部キリスト教会

〒210-0025 川崎区下並木66

TEL&FAX 044-233-3648

Eメール：[nanbu-kyokai@nifty.com](mailto:nanbu-kyokai@nifty.com)

URL：<http://homepage2.nifty.com/nanbukyokai/>

## 向きを変えて

「向きを変えて、出発せよ。」

(申命記1：7)

1991年の秋の話です。

台風が次々と上陸して、青森県のリンゴが8割も落ちてしまいました。作ったリンゴの9割が売れなくなりましたから、リンゴ農家の人は肩を落として嘆き悲しみました。テレビでも連日やっていたら知っている人も多いと思います。

しかし、このとき嘆き悲しまなかった人がいるのです。大丈夫、大丈夫と。なぜ、リンゴが落ちて売れないのに大丈夫なのでしょう。

「落ちなかったリンゴを<落ちないリンゴ>の名前で受験生に売りましょう。1個1000円で」。すると高いのに飛ぶように売れました。<落ちないリンゴ!>と受験生もとても喜んで食べました。その方は下に落ちた9割のリンゴに意識を向けず、落ちなかった1割のリンゴを見ていたのです。

向きを変えたのです。

視点を変えたのです。



同じ状況にも関わらず、嘆き悲しむクリスチャンがいます。しかし、どこを見るかで人生はこんなにも違います。向きを変えて視点が違うと信仰生活の局面も、一瞬で変わるのです。

落ちたリンゴのような自分のいやな所や、欠点ばかり見ないで、神が私たちにも与えてくださっている、落ちないリンゴの一つを祈りつつ発見させていただきましょう。



「向きを変えて、出発せよ。」

(申命記1：7)